

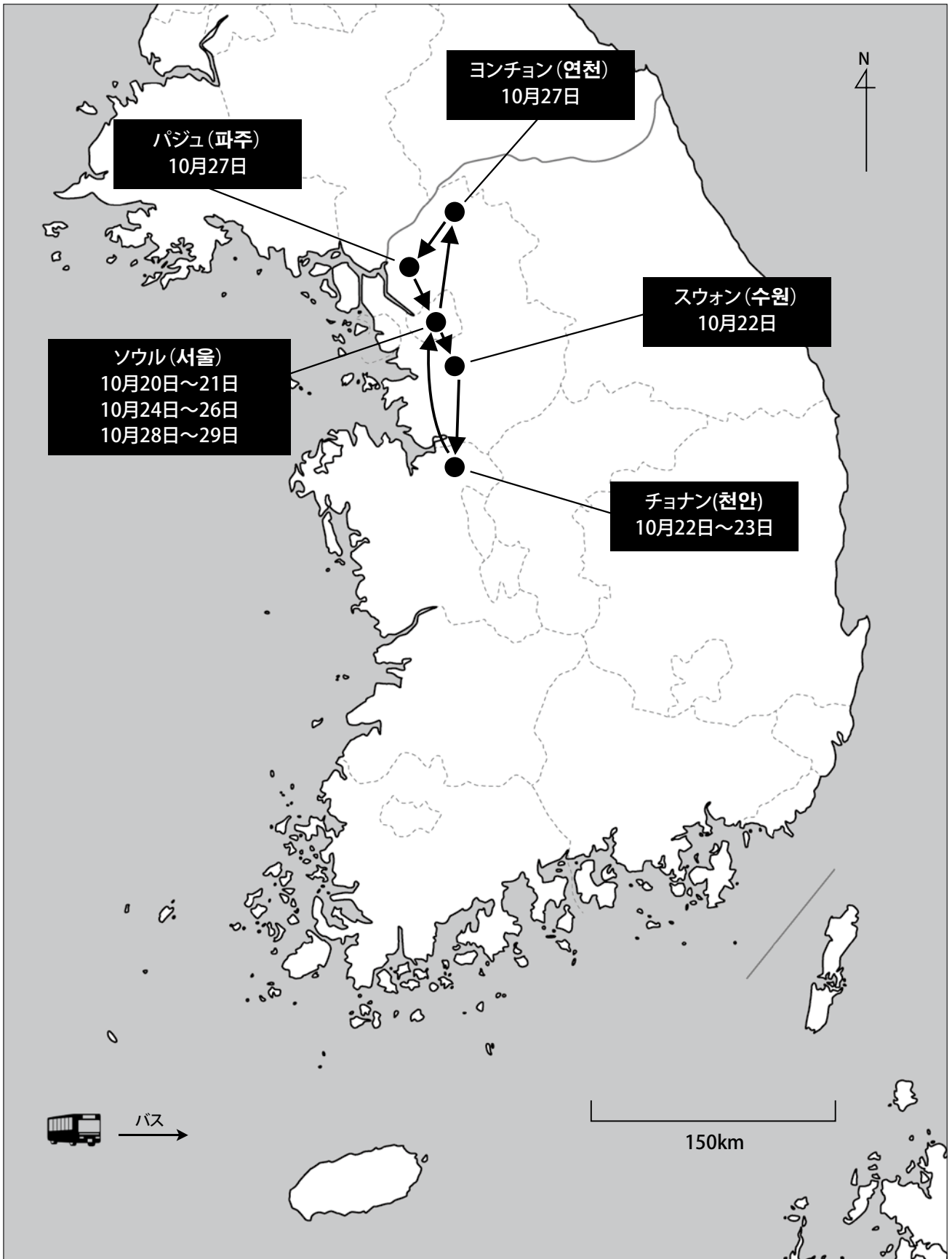
## 第3章

# 日本青年韓国派遣

- 行動地図
- 行動記録
- プログラム一覧



# 行動地図



## 行 動 記 録

月日	時間	行動日程	滞在都市
10月20日 (月)	9:00 11:30 12:40-13:40 15:55-17:40 17:45-19:00	東京(羽田)発(OZ1055) ソウル(金浦)着 昼食 韓国青少年活動振興院訪問及びオリエンテーション 夕食	東京 ↓ ソウル
10月21日 (火)	11:00-12:00 12:00-13:25 13:50-14:50 15:00-17:00 17:20-18:20	性平等家族部表敬訪問 歓迎午餐(性平等家族部) 在大韓民国日本国大使館公報文化院表敬訪問 大韓民国歴史博物館訪問 夕食	↓
10月22日 (水)	8:40-10:00 9:30-11:25 11:30-12:30 12:30-14:00 14:00-19:00	移動(ソウル→スウォン) 華城行宮訪問 昼食 移動(スウォン→チョナン) 国立中央青少年修練院表敬訪問及び夕食 - 14:00-14:30 表敬訪問 - 14:30-18:00 体験活動、交流 - 18:00-19:00 夕食	スウォン ↓ チョナン
10月23日 (木)	9:00-10:15 10:30-16:00     16:00-17:30 17:30-18:30	ナザレ大学訪問、テコンドー見学 天安市青少年複合コミュニティーセンター交流プログラム - 10:30-11:30 開会式、オリエンテーション - 11:30-12:30 ベイキング体験(ヤッカクッキー)/ショコラティエ体験 - 12:30-13:30 昼食 - 13:30-15:30 K-POP体験及び韓国の伝統的な遊び体験 - 15:30-16:00 ラップアップ 移動(チョナン→ソウル) 夕食	↓      ソウル
10月24日 (金)	9:30-12:00 12:00-13:00 14:30-15:00  15:00-16:40 17:00-17:50  18:10-20:00	韓服体験及び景福宮訪問 昼食 <日韓青少年交流会1日目> 開会式 レクリエーション 韓国青年チェックイン、文化発表リハーサル - 17:00-17:25 日本青年リハーサル - 17:25-17:50 韓国青年リハーサル 日韓国交正常化60周年記念式 記念式及び晚餐ビュッフェ 両国文化発表	↓
10月25日 (土)	9:00- 9:30  9:30-12:00  12:00-13:00 13:00-14:30 14:30-15:45 15:45-16:25 16:30-17:00 17:30-18:30	<日韓青少年交流会2日目> 討論会オリエンテーション 討論会第1部 テーマ: 少子高齢化、ワークライフバランス、教育、環境、ソーシャルメディア 昼食 討論会第2部 討論会発表 レクリエーション 閉会式 夕食	↓

月日	時間	行動日程	滞在都市
10月26日 (日)	9:30	ホームステイマッチング ホームステイ	ソウル
10月27日 (月)	9:30-10:00 10:00-11:00 11:00-13:00 13:20-15:00 15:00-15:30 15:30-17:15 17:15-18:40 18:40-20:10	ホームステイ終了、歓送 移動 (ソウル→ヨンチョン) 昼食 韓半島統一未来センター訪問 - 13:30-14:00 センター紹介 - 14:00-15:00 キーホルダー作り体験 移動 (ヨンチョン→パジュ) 坡州臨津閣平和ゴンドラ訪問 移動 (パジュ→ソウル) 夕食	ソウル ↓ ヨンチョン ↓ パジュ ↓ ソウル
10月28日 (火)	9:45-16:15 16:30-18:30 19:05-19:55	ソウル市立青少年メディアセンター交流プログラム - 10:00-10:25 両国紹介、歓迎の挨拶など - 10:25-11:00 撮影機器の教育及びチーム分け - 11:00-12:00 昼食 - 12:30-14:00 チーム別撮影 - 14:30-15:50 チーム別編集及びコンテンツ上映会 Nソウルタワー訪問 夕食	ソウル
10月29日 (水)	12:20-13:15 15:45 17:50	昼食 ソウル (金浦) 発 (OZ1045) 東京 (羽田) 着	ソウル ↓ 東京

## プログラム一覧

10月20日

<b>プログラム</b>	<b>韓国青少年活動振興院訪問</b>
所在地	ソウル
主たる面会者	ソン・ヨンギ (SON Yeon Gi) 理事長 キム・ギョンファン (KIM Kyoung Hwan) 理事 クォン・ヒョクト (KWON Hyuk Do) 活動振興本部 本部長 キム・ジンゴル (KIM Jin Geol) 政策事業部 部長
概要	韓国青少年活動振興院(KYWA)は、青少年の生活の質向上を目的に支援を行っている公的機関であり、今回の韓国派遣プログラムを企画・運営した機関である。ソン・ヨンギ理事長から歓迎の挨拶を受けた後、オリエンテーションを実施した。韓国の既参加青年から文化紹介を受け、最後にマスコットキャラクター「キウミ」と広報用のショート動画を撮影した。

10月21日

<b>プログラム</b>	<b>性平等家族部訪問</b>
所在地	ソウル
主たる面会者	チェ・ウンジュ 青少年政策官 ヤン・チョルス (YANG Cheol Soo) 青少年活動振興課 課長 シン・ビョンス (SHIN Byung Soo) 書記官 (国際交流担当)
概要	性平等家族部は、19の省庁から成る韓国の中央行政組織のうちの一つであり、主に女性・家族・青少年が幸せな社会を築くための支援を行う行政機関である。今回の表敬訪問では、機構や政策について説明いただき、質疑応答及び記念撮影を行った。表敬訪問の後、性平等家族部主催の歓迎昼食会が開催され、韓国式のコース料理をいただいた。

<b>プログラム</b>	<b>在大韓民国日本国大使館公報文化院表敬訪問</b>
所在地	ソウル
主たる面会者	川瀬和広 院長(公使) / 博士 御澤真一郎 一等書記官 安大鋳 調査官
概要	在大韓民国日本国大使館公報文化院は、相手国政府との交渉、現地の自国民の保護、公報文化活動および日韓文化交流の促進等を目的とした機関である。今回の表敬訪問では、川瀬院長より日本の外交戦略と日韓関係について説明いただき、最後に質疑応答と記念撮影を行った。

<b>プログラム</b>	<b>大韓民国歴史博物館</b>
所在地	ソウル
概要	大韓民国歴史博物館は、19世紀末開港期から現在に至るまでの韓国の近代史に関する資料を収集・調査研究・展示をする博物館である。ガイドにより日本統治時代の韓国の教育や文化、朝鮮戦争の概要などの説明を受け、館内を見学した。

## 10月22日

<b>プログラム</b>	<b>華城行宮訪問</b>
所在地	スウォン
概要	華城行宮は王が地方に滞在する際の宿泊所や政務の場として使われた宮殿である。ガイドによる解説を受けながら、華城行宮を見学した後、水原市立公演団による韓国の伝統武芸のパフォーマンスを観覧した。

<b>プログラム</b>	<b>国立中央青少年修練院表敬訪問</b>
所在地	チョナン
主たる面会者	イム・ジョンジン (LIM Jong Jin) 部長 キム・ヨンヒ (KIM Young Hee) 部長
概要	国立青少年修練院は韓国青少年活動振興院(KYWA)の施設の一つである。主な活動は、青少年向けの研修活動などの青少年活動プログラム、文化交流活動などの青少年国際交流プログラム、障害のある青少年を支援する青少年支援プログラムの三つである。今回は、同施設において、e スポーツや両国の文化紹介等を通じた国際交流を実施した。

## 10月23日

<b>プログラム</b>	<b>ナザレ大学訪問</b>
所在地	チョナン
概要	ナザレ大学は、1948年に設立された韓国の私立大学である。今回は、同施設においてテコンドーの演舞の見学を実施した。また、見学の後には、学生との質疑応答を通じた懇親を実施した。

<b>プログラム</b>	<b>天安市青少年複合コミュニティーセンター交流プログラム</b>
所在地	チョナン
主たる面会者	イ・ジェグァン (LEE Jae Kwang) チームリーダー
概要	天安市青少年複合コミュニティーセンターは、青少年の参加型のプログラムを数多く実施している施設である。今回は同施設において、文化紹介を通じたオリエンテーション、ベイキング体験/ショコラティエ体験を通じた共同作業、K-POPや韓国の伝統的な遊びを通じた文化体験を実施した。

## 10月24日

<b>プログラム</b>	<b>韓服体験及び景福宮訪問</b>
所在地	ソウル
概要	景福宮は、ソウルの中心部にある朝鮮王朝の王宮である。「景福」には「新しい王朝が大きな福に包まれて、繁栄する」という意味が込められている。今回は、同施設において、韓服を着用し、見学を行った。

<b>プログラム</b>	<b>日韓青少年交流会 1 日目</b>
所在地	ソウル
概要	日韓青少年交流会の1日目は、開会式とレクリエーションを実施した。レクリエーションの中では、自己紹介と周囲のメンバーを知る為の団扇作り体験、相手に気づかれない様に親切を行い助け合うマニトゲーム体験、与えられたお題に対してレクリエーションチームで同じジェスチャーを行うテレパシーゲーム、レクリエーションチーム全員で協力してフラフープを運ぶ共同活動を実施した。

<b>プログラム</b>	<b>日韓国交正常化60周年記念式</b>
所在地	ソウル
主たる面会者	<p>チェ・ウンジュ 性平等家族部 青少年政策官  ヤン・チョルス (YANG Cheol Soo) 性平等家族部 青少年活動振興課 課長  シン・ビョンス (SHIN Byung Soo) 性平等家族部 書記官 (国際交流担当)  ソン・ヨンギ (SON Yeongi) 韓国青少年活動振興院 理事長/ 博士  キム・ギョンファン (KIM Kyoung Hwan) 韓国青少年活動振興院 理事  クォン・ヒョクト (KWON Hyuk Do) 韓国青少年活動振興院 活動振興本部本部長  キム・ジンゴル (KIM Jin Geol) 韓国青少年活動振興院 政策事業部部長 (令和7年度韓国青年代表団団長)  キム・ボリム (KIM Borim) 韓国青少年活動振興院 政策事業部課長 (令和7年度韓国青年代表副団長)  イ・ダウン (LEE Da Eun) 韓国青少年活動振興院 政策事業部課長 (令和7年度韓国青年代表副団長)  ペク・イルヒョン 韓国青少年政策研究院 院長  チェ・チャンウク (CHOI Chang Wook) 韓国青少年政策研究院 副院長/博士  キム・デウン (KIM Dae Woong) 韓国青少年政策研究院 チーム長/博士</p>
概要	日韓国交正常化60周年記念式では、①チェ・ウンジュ青少年政策官、ソン・ヨンギ理事長/ 博士、南順子内閣府大臣官房審議官の挨拶、②チェ・ウンジュ青少年政策官、ソン・ヨンギ理事長/ 博士、ペク・イルヒョン院長、南審議官、勝間田団長、両国青年代表による60周年記念ケーキのケーキカット、③両国の文化紹介、④韓国の若者による伝統芸能の紹介が行われた。

## 10月25日

<b>プログラム</b>	<b>日韓青少年交流会 2 日目</b>
所在地	ソウル
概要	日韓青少年交流会の2日目は、「少子高齢化」「ワークライフバランス」「教育」「環境」「ソーシャルメディア」の5テーマを設定し、1テーマに対して7～8名の両国混成のチームに分かれてディスカッションを行った。具体的には、各国の現状共有を行い、その内容を整理してアクションプランをまとめてプレゼンテーションを実施した。

**10月26日**

<b>プログラム</b>	<b>ホームステイ</b>
所在地	ソウル
概要	日本青年2～3人ずつに分かれ、各家庭でホームステイを行った。ホストファミリーごとに活動内容は異なり、家庭での食事やキンパ作り、漢江周辺での散歩やサイクリング、市場の見学など多様な交流が行われた。

**10月27日**

<b>プログラム</b>	<b>韓半島統一未来センター訪問</b>
所在地	ヨンチョン
主たる面会者	キム・ホンテ (KIM Hong Tae) 企画運営チーム長
概要	韓半島統一未来センターは、南北青少年交流を支援し、朝鮮半島の平和・統一に対する国内外の共感を拡散するために建てられた施設である。施設の説明、プログラム体験、敷地内の見学及び記念撮影を行った。

<b>プログラム</b>	<b>坡州臨津閣平和ゴンドラ訪問</b>
所在地	パジュ
概要	臨津閣平和ゴンドラは、韓国と北朝鮮の境界線に位置するDMZ（非武装地帯）に入ることができるゴンドラである。ゴンドラを降りた先の展望台では、ガイドから朝鮮戦争で捕虜となった約1万3千人が南側へ帰還する際に渡った「自由の橋」や、DMZ内にあるテソンドン村などについて説明を受けた。

**10月28日**

<b>プログラム</b>	<b>ソウル市立青少年メディアセンター交流プログラム</b>
所在地	ソウル
主たる面会者	イ・ジョンイク (LEE Jong Ik) 館長
概要	ソウル市立青少年メディアセンターは、2000年度にオープンした韓国で唯一のメディアに特化したセンターで、青少年がメディアを扱う最も代表的な施設である。ソウル市立青少年メディアセンターの青少年と国立中央博物館やノドウル島へ行き、映像撮影の仕方を教えてもらい、音楽を添えた短い動画を作成した。

<b>プログラム</b>	<b>Nソウルタワー訪問</b>
所在地	ソウル
概要	Nソウルタワーは、ソウル市内の南山公園にある塔で、展望台からはソウル市内を一望できる。タワーから景色を眺めた後、ケーブルカーを利用し下山した。

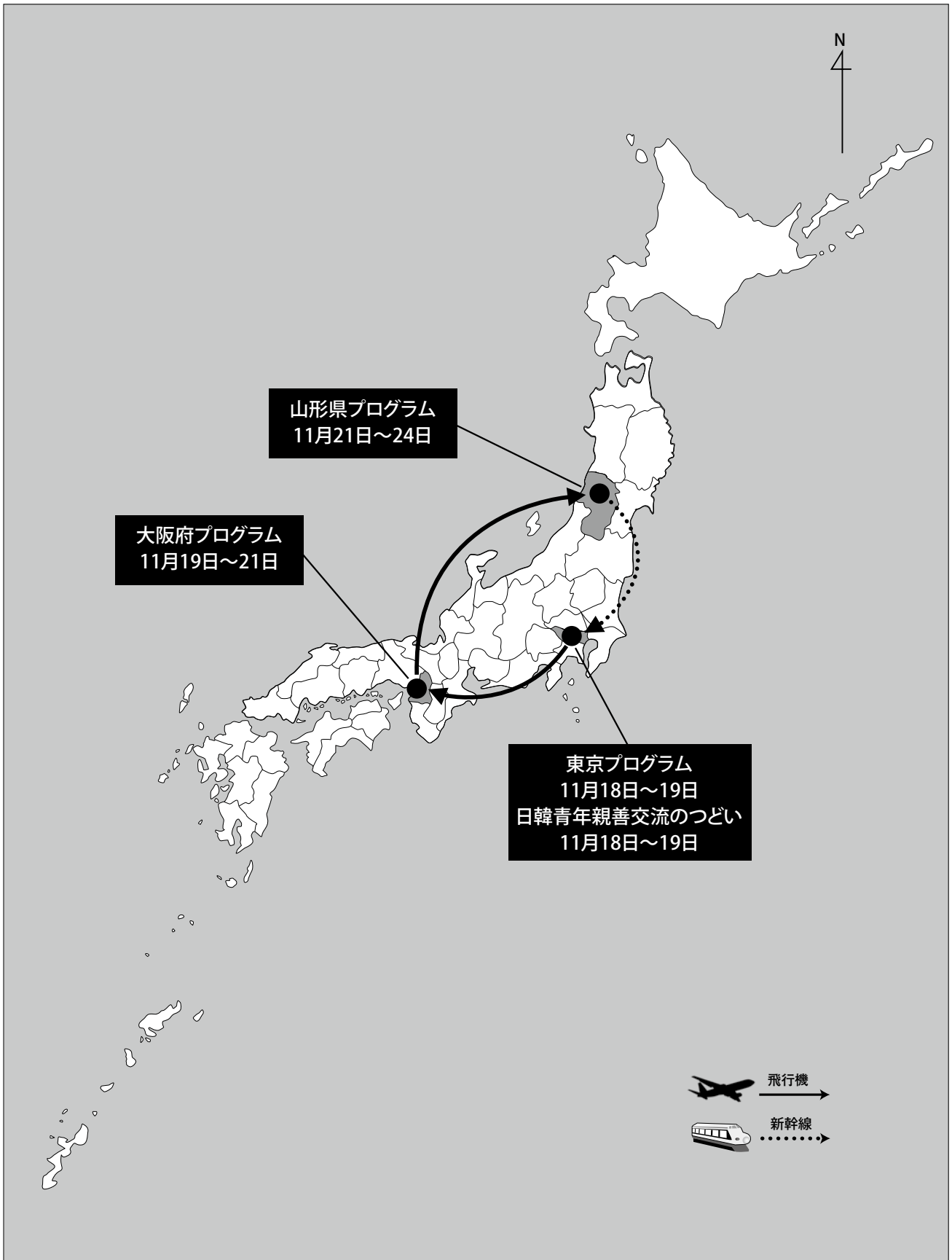
## 第4章

# 韓国青年日本招へい

- 行動地図
- 行動記録
- プログラム一覧



# 行動地図



# 行動記録

月日	時間	行動日程	滞在都市
11月18日 (火)	12:25	東京（成田）着（KE703）	東京 ↓
	14:30-15:30	軽食	
	16:30-17:30	オリエンテーション	
	18:00-19:00	夕食	
11月19日 (水)	10:00-10:30	内閣府表敬訪問 ・南順子内閣府大臣官房審議官あいさつ 等	↓ 大阪 ↓
	11:30-13:00	昼食	
	14:00-15:10	東京（羽田）発（NH27）	
	《大阪府プログラム》		
	15:10	大阪（伊丹）着	
	16:30	ホテル着	
11月20日 (木)	17:00-17:30	オリエンテーション	↓
	18:30-20:30	歓迎会 ・福本泰延大阪府福祉部子ども家庭局長あいさつ ・大阪弁講座 等	
	9:30-14:30	大阪女学院大学プログラム ・大学ツアー ・加藤映子大阪女学院大学学長あいさつ ・地元青年とのディスカッション	
	15:40-19:00	大阪グループツアー（夕食含む） ・行き先：梅田、ミナミ、大阪城、新世界、天神橋筋商店街	
11月21日 (金)	9:30-10:00	大阪府庁表敬訪問 ・渡邊繁樹大阪府副知事あいさつ 等	↓ 山形 ↓
	10:50-11:50	昼食（お好み焼き作り体験）	
	14:05	大阪（伊丹）発（JAL2235）	
	《山形県プログラム》		
	15:15	山形着	
	16:30-17:30	山形県庁表敬訪問 ・齋藤恵美子山形県しあわせ子育て応援部長あいさつ ・山形歯科専門学校花笠踊り披露 等	
11月22日 (土)	17:30-18:00	オリエンテーション	↓
	18:30-19:45	夕食	
	10:30-12:00	紅花染め体験	
	12:00-12:50	昼食	
11月22日 (土)	13:30-16:50	花笠体験 ・花笠指導 ・民謡協会及び山形大学花笠サークル「四面楚歌」紹介・踊り披露 ・みんなで花笠踊り	↓
	18:30-20:30	歓迎会・ホームステイマッチング	
		ホームステイ	
11月23日 (日)	終日	ホームステイ	↓
11月24日 (月)	9:30-10:30	書道体験 ・旅の思い出の俳句作り ・絵葉書制作	↓ 東京 ↓
	10:45-12:10	お別れ昼食会 ・餅つき体験 等	
	13:04	山形駅発（つばさ142号）	
	15:48	東京到着	
	17:30-18:30	夕食	

月日	時間	行動日程	滞在都市
11月25日 (火)	《日韓青年親善交流のつどい》		
	13:00-13:30	開会式・オリエンテーション	東京
	13:30-14:30	レクリエーション	
	15:00-18:00	ディスカッション ①少子高齢化 ②ワークライフバランス ③教育 ④環境 ⑤ソーシャルメディア	
	18:00-19:30	夕食	
	19:30-20:30	文化体験	
11月26日 (水)	10:00-13:00	ディスカッション・成果発表会準備	
	13:00-14:30	昼食	
	14:30-16:30	ディスカッション成果発表会	
	18:00-20:00	日韓外交正常化60周年記念 青年交流レセプション ・古川直季内閣府大臣政務官あいさつ ・キム・ギョンファン韓国青少年活動振興院政策企画理事あいさつ ・文化紹介 等	
11月27日 (木)	9:00-10:00	振返り会	
	10:15-10:45	閉会式	
	11:00-12:30	昼食歓送会	
	17:10	東京（成田）発（KE712）	

## プログラム一覧

11月19日

<b>プログラム</b>	<b>内閣府表敬訪問</b>
所在地	東京
主たる面会者	南順子内閣府大臣官房審議官 牧野将宏内閣府青年国際交流担当参事官
概要	南審議官による歓迎あいさつ及びキム・ジンゴル韓国青年代表団団長の答礼に続き、質疑応答が行われた。南審議官の質問に韓国青年が積極的に回答し、短時間ながらも活発な意見交換が行われた。その後、記念品交換、記念撮影が行われ、表敬訪問が終了した。

<b>プログラム</b>	<b>歓迎会</b>
所在地	大阪
主たる面会者	福本泰延大阪府福祉部子ども家庭局長 加藤映子大阪女学院大学学長
概要	福本泰延大阪府福祉部子ども家庭局長や加藤映子大阪女学院大学学長を始め、大阪府受入実行委員会や地元青年等の地元関係者が出席し、歓迎会が開催された。地元青年から大阪の方言講座が行われ、韓国青年は大阪への理解をより深める機会になった。韓国青年からは多くの出席者を前に文化紹介としてテコン舞や歌、ダンスのパフォーマンスが披露され、盛況のうちに歓迎会が終了した。

11月20日

<b>プログラム</b>	<b>大阪女学院大学プログラム</b>
所在地	大阪
主たる面会者	加藤映子大阪女学院大学学長
概要	大学に到着した韓国青年は、韓国の伝統衣装を身にまとった加藤映子大阪女学院大学学長の案内により、大学構内を見学した。その後教室に移動し、加藤学長による歓迎あいさつに続き、大阪女学院大学生を始めとする地元青年と六つのグループに分かれ、観光をテーマにディスカッションを行った。各グループで観光に対するイメージや課題、互いの国の魅力や相違点等について意見交換をしたうえで、続くプログラムである「大阪グループツアー」における課題やテーマを設定した。

<b>プログラム</b>	<b>大阪グループツアー</b>
所在地	大阪
概要	大阪女学院大学プログラムと同じ六つのグループに分かれ、実行委員と地元青年の案内のもと、大阪市内の多様な文化施設等を訪問し、大阪への理解を深めた。グループ毎に夕食もとり、交流をより深める時間になった。

## 11月21日

<b>プログラム</b>	<b>大阪府庁表敬訪問</b>
所在地	大阪
主たる面会者	渡邊繁樹大阪府副知事
概要	渡邊繁樹大阪府副知事による歓迎あいさつ及びキム・ジンゴル韓国青年代表団団長の答礼に続き、記念品交換が行われた。最後に記念撮影を行い、表敬訪問が終了した。短い時間であったが、表敬訪問終了後に韓国青年は、表敬訪問会場から大阪・関西万博会場等の展望を楽しんだ。

<b>プログラム</b>	<b>山形県庁表敬訪問</b>
所在地	山形
主たる面会者	齋藤恵美子山形県しあわせ子育て応援部長
概要	齋藤恵美子山形県しあわせ子育て応援部長による歓迎あいさつ及びキム・ジンゴル韓国青年代表団団長の答礼に続き、韓国青年一人一人が自己紹介を行った。その後、山形歯科専門学校による歓迎パフォーマンスとして花笠踊りが披露された。続いて山形歯科専門学生との交流の時間が設けられた後、記念品交換、記念撮影を行い、表敬訪問が終了した。

## 11月22日

<b>プログラム</b>	<b>紅花染め体験</b>
所在地	山形
主たる面会者	加藤映子大阪女学院大学学長
概要	山形は古くから日本有数の紅花産地であり、現在でも主要な産地である。その多くは織物の染料や口紅の原料として京都へ運ばれたが、産地でも紅花染めは行われている。韓国青年は講師に教わりながら、地元青年と共に紅花染めを体験し、オリジナルの模様のハンカチを作った。山形が地元の鈴木憲和農林水産大臣が会場を訪れ、韓国青年と交流するとともに、その後の昼食も一緒にとった。

<b>プログラム</b>	<b>花笠体験</b>
所在地	山形
概要	花笠踊りは、山形を代表する夏祭り「山形花笠まつり」で披露される伝統舞踊である。紅花をあしらった花笠を持ち、「ヤッショ、マカショ！」の掛け声と共にリズムカルに舞うのが特徴で、花笠の動きや振り付けが異なる複数の踊り方がある。山形県民踊協会のサポートにより韓国青年は花笠踊りの衣装を身に着け、山形大学花笠サークル「四面楚歌」の指導により花笠踊りを学んだ。両団体の踊り披露の後、花笠踊りを参加者全員で円になって踊った。

<b>プログラム</b>	<b>歓迎会・ホームステイマッチング</b>
所在地	山形
概要	山形県受入実行委員会や地元青年、ホストファミリーを始めとする地元関係者が出席し、歓迎会が開催された。韓国青年にとってこの歓迎会がホストファミリーと初めて顔を合わせる場となった。多くの出席者を前に、韓国青年は文化紹介としてテコン舞及び歌のパフォーマンスを披露した。最後には花笠踊りを全員で円になって踊り、記念撮影をして終えた。

**11月22日～24日**

<b>プログラム</b>	<b>ホームステイ</b>
所在地	山形
概要	韓国青年2～3人ずつに分かれ、各家庭で2泊3日のホームステイを行った。各家庭が韓国青年のためのプログラムを準備し、寝食を共にしながら、日本文化をに対する理解を深めるとともに、日本の生活を体験した。

**11月24日**

<b>プログラム</b>	<b>書道体験</b>
所在地	山形
概要	講師より俳句や書道についての説明を受けたうえで、山形県プログラムでの思い出を俳句にした。詠んだ俳句を絵葉書に筆ペンで書き、消しゴムハンコをあしらって十人十色の絵葉書を完成させた。

<b>プログラム</b>	<b>お別れ昼食会</b>
所在地	山形
概要	山形県受入実行委員会や地元青年によってお別れ昼食会が開催された。「芋煮」がふるまわれ、山形の郷土料理を堪能した。また、大曾根餅つき保存会による餅つき体験があり、韓国青年全員が杵と臼で餅をつき、自らついた餅を食べ、日本と韓国の餅の違いを学ぶ機会にもなった。